

2020年度 読み聞かせ & 図書室ボランティア活動報告

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

逗子小学校学校支援地域本部では児童の読書活動の一助として、保護者や地域の方による「読み聞かせボランティア」「図書室ボランティア」活動を長年行なっています。

2020年度はコロナ禍のため、例年通りの活動ができませんでしたが、状況を見つつ、先生方と相談しながら、以下のような活動を行いました。

学校図書館指導員が不在の水曜日・木曜日の中休み・昼休みに、図書室で児童の見守りを行なっている「図書室ボランティア」は2021年1月から3月まで、前年度ボランティアをしていただいた方にお声かけさせていただき、10名で合計15回、図書室での見守り活動を行いました。

昨年度のべ212名の保護者の方にご参加いただいた、木曜日の朝の「読み聞かせボランティア」活動は今年度は実施できませんでした。読み聞かせボランティアは子どもたちの本との出会いのきっかけづくりとともに、児童と保護者の交流、保護者同士の交流の大事な機会でもありました。読み聞かせの時間を楽しみにしている児童、保護者も多く「いつからできるの？」との声もよく聞かれました。

「図書室ボランティア」「読み聞かせボランティア」は、来年度も状況を見て、ボランティアを募集しますので、その際はご協力をお願いします。

また、例年6年生を対象に行っていた「戦争と平和の読み聞かせ」と「読み聞かせスペシャル”銀河鉄道の夜”」は、卒業生サポーターのご協力を得て実施することができました。

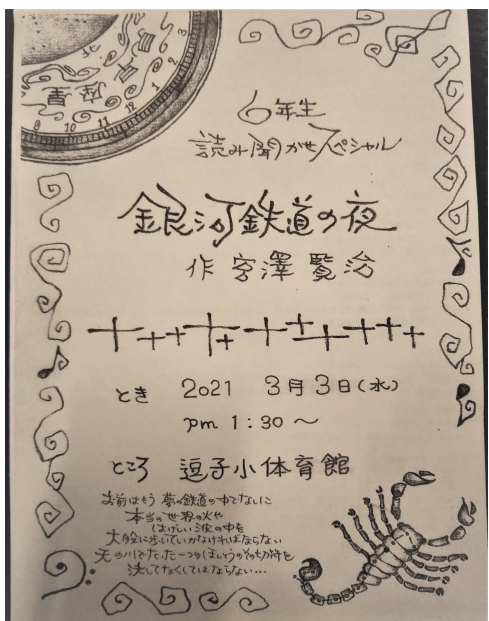
「戦争と平和の読み聞かせ」は絵本”いわたくんちのおばあちゃん”を読み聞かせ、原爆や平和活動について学び、平和のために自分には何ができるかを考えるプログラムです。1月下旬、6年生4クラスそれぞれの授業時間に平和学習として行いました。



卒業記念行事でもある「読み聞かせスペシャル”銀河鉄道の夜”」は、2012年より毎年、逗子文化プラザで行っているプログラムですが、文化プラザが使用できなかったため、今年度は3月3日・逗子小体育館にて上演しました。

制作・上演は逗子小学校卒業生保護者と、ご協力いただいたプロの芸術家の方です。

小学校入学以来、保護者や地域の皆さんからの読み聞かせで出会ったたくさんの物語と共に、小学校生活の思い出の1ページになることを願い、宮澤賢治の名作を、星空写真家・牛山俊男さんの写真などの手作りの映像を交え、チェロ奏者・吉濱綾伽さんが物語にあわせてオリジナルに作曲された曲をヴァイオリン、チェロ、ピアノの生演奏と共に、読み聞かせを行いました。



上演動画を以下のリンク先・右のQRコードからyoutubeでご覧いただけます。

▶<https://youtu.be/ynRFHzHgWJU>



学校支援地域本部は、「できる人ができるときにできることを」をモットーに学校、家庭、地域が一体となり、地域ぐるみで子供達を育てていくことを目標に、在校生保護者、卒業生の保護者、地域の方々がサポーターとして学校支援のボランティア活動を行うための調整役を行っています。

来年度も子供たちが楽しく学校生活を送り、心身ともに健やかに成長できるよう、状況を見つつ、楽しく活動してまいります。活動にご興味のある方はぜひ学校までお知らせください。

また個別のボランティア募集は随時、「サポーター通信」でお知らせしますので、来年度も、できるときにできる活動へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。